



東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催期間に 特別デザインスカーフを着用

第21019号

2021年7月20日

日本トランスオーシャン航空(本社:那覇市、社長:青木紀将)と琉球エアコミューター(本社:那覇市、社長:金城清典)では、東京2020オリンピック・パラリンピック開催期間に客室乗務員および地上接客部門が特別デザインスカーフを着用いたします。

このスカーフは、一般公募のデザインをJALグループ社内投票により選考したもので、特別なデザインのスカーフを、JALグループの客室乗務員および地上接客部門スタッフが期間限定で着用し、空港・機内でお客さまに日本の魅力をお伝えいたします。

1. 着用期間

2021年7月21日(水)~2021年9月7日(火)

2. スカーフの概要

1)客室乗務員スカーフ「魅力の四季~HANABI~」。

日本の象徴のひとつである富士山を中心に「日本の魅力」があふれ、花火のようにはじけて開花するイメージで、四季の植物をモチーフに日本らしい風物詩や情景が伝わるようなデザイン。環境の変化により四季が薄れつつある中、四季を取り戻したいという想いも込められている。

(2)グランドスタッフスカーフ「NIPPON! 2020」

外国のお客さまが見ても分かるような、the日本!をイメージしたデザイン。

以上



客室乗務員部門：

加治木 由香利様

「魅力の四季~HANABI~」

地上接客部門：

YUKI(赤岩有希)様

「NIPPON! 2020」